

平成 30 年度第 1 回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

開催日時：平成 30 年 4 月 1 日（日）11 時～13 時 10 分

開催場所：福岡歯科大学口腔医療センター 会議室

出席者：尾崎 正雄、山崎 要一、空田 安博、野中 和明、藤原 卓、牧 憲司、小笠原 貴子、釜崎 陽子、稲田 絵美、馬場 篤子、久芳 陽一、久保山 博子、舩元 康浩、高風 亜由美、森 奈千子、木船 敏郎、井上 浩一郎、宮川 尚之、竹島 勇、橋本 敏昭、石谷 徳人、奥 猛志、岡 暁子、田村 翔悟、石井 香

欠席者：西田 郁子

（敬称略）

進行：馬場庶務幹事が行った。

1. 開会の辞

空田副会長が開会の辞を述べられた。

2. 会長挨拶

尾崎会長が会長挨拶を述べられた。

3. 報告事項

- 1) 尾崎会長が資料 1 をもとに平成 30, 31 年度の公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会役員の紹介を行った。
- 2) 尾崎会長が資料 2 をもとに日本小児歯科学会九州地方会会則の変更点として、本会事務局を福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野内におくことが報告された。
- 3) 岡監事が資料 3 をもとに第 36 回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について報告を行った。また、第 36 回日本小児歯科学会九州地方会の予算案についても報告された。
- 4) 尾崎会長および山崎副会長が公益社団法人日本小児歯科学会について報告された。

報告内容

日本小児歯科学会理事会にて小児歯科標榜医の先生のスキルアップを目的に朝田教授を中心とした認証医制度の立ちあげが承認された。地方会役員の旅費を予算に組み込めるか、検討中である。地方会から選出する代議員の条件を検討中であることが報告された。

5) その他

藤原常任幹事が今後開催される国際小児歯科学会の日程について報告した。

4. 議長選出

尾崎会長より森県代表幹事の推薦があり議長に選出された。

5. 審議事項

- 1) 奥監事が資料 4 をもとに平成 29 年度日本小児歯科学会九州地方会会計報告を行った。

- 2) 舩元県代表幹事が資料 5 をもとに第 35 回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会会計報告を行った。
 - 3) 久芳県代表幹事（前監査）が 1) および 2) に対する会計監査の報告をおこない、賛成多数により承認された。
 - 4) 尾崎会長が資料 6 をもとに平成 30 年度九州地方会事業計画について報告を行った。この中で、認定歯科衛生士制度推進のためのセミナー開催を 2 年に 1 度行う計画があり、学術振興費から予算額に応じた支出が行われることとなった。橋本地方会推薦理事が歯科衛生士活性化委員会の委員長として、また、広報活動の強化のための HP の活性化と一般社会に向けた広報活動を石谷地方会推薦理事へ、ニュースレターの発行を石井広報幹事へ依頼され、賛成多数により承認された。
 - 5) 田村会計幹事が資料 7 をもとに平成 30 年度九州地方会予算案の報告を行った。予算案の承認に関しては、本会から地方会予算に関する共通フォーマットの通知がないため、本会からの通知が届き次第それに従って予算の作製を行い、会員へメール通知することとなった。その後、予算に関して疑義等があればメールにて受けることとなった。資料 7 については、出席者の多数の挙手をもって承認された。
 - 6) 橋本地方会推薦理事が歯科衛生士活性化のための 2 年に 1 回のセミナー開催案について、また石谷地方会推薦理事が I T 関係推進委員会の委員長として様々な活動を行うという抱負が述べられ承認された。
 - 7) 牧常任理事が資料 8 をもとに地方会大会優秀発表賞の選出方法について提案され、優秀発表者の選出方法に関しては承認されたが、賞金については、平成 30 年度九州地方会予算案に組み込み後日会員にメール連絡することとなった。
 - 8) 石井広報幹事が資料 9 をもとにニュースレターの発刊についての報告を行い、出席者の多数の挙手をもって承認された。
 - 9) 尾崎会長が公益社団法人日本小児歯科学会本会組織における九州地方会位置づけについて説明された。年度ごとの余剰金または赤字についての取り扱いについて現在の状況に対する説明がなされた。
 - 10) その他
山崎副会長より、地方会会長は就任間もない大学教授が行い地方会とともに成長していくようにしたいとの意見を述べられた。また今後、日本小児歯科学会全国大会と九州地方会の両者の主幹を同年に担当する可能性があるため、その際は皆様にご迷惑をおかけする可能性があることが述べられた。
木船県代表幹事より昨年 7 月に起きた福岡での歯科治療後の幼児死亡事故に関する日本小児歯科学会の対応に対して意見が述べられた。それに対し、石谷地方会推薦理事より日本小児歯科学会の対応についての説明が述べられた。
6. 監事総評
- 奥監事より、日本小児歯科学会の公益法人化など大変な時期ではあるが、地方会の各

運営を子供たちのために何ができるかを考えながら、進めていくことが望ましいとの総評を頂いた。

岡監事より、年に2回しか役員会がないため、メール上での決議が有効となるか、また、それに対する規則の検討も考えていく必要があるとの総評を頂いた。

7. 閉会の辞

山崎副会長より閉会の辞が述べられた。